

浜田市立弥栄中学校 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年7月6日(月) 3校時

場 所 2年教室

指導者 羽柴千晴

1. 単元名 「韓国」について調べたことを友達にプレゼンしよう
～資料や機器を効果的に活用して分かりやすく話す～

2. 単元のねらい

- 調べたことについて聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- 社会生活の中から課題を決め、説明するための材料を多様な方法で収集・整理してまとめることができる。
【話す・聞く能力】
- 分かりやすく説明するために写真や図などの資料を効果的に活用したり、機器を活用して要点を示したりして話すことができる。
【話す・聞く能力】
- 聞き手を意識して、話し言葉としてふさわしい言葉を使って話すことができる。
【言語についての知識・理解・技能】

3. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
調べたことについて聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。	①社会生活の中から思考ツールを使ってテーマを見つけ、説明するための材料を、情報カードを使って収集・整理してまとめている。(ア) ②分かりやすく説明するために写真や図などの資料を効果的に活用したり、機器を活用して要点を示したりして話している。(ウ)	聞き手を意識して、話し言葉としてふさわしい言葉を使って話している。 ((1)イ(ア))

4. 単元を貫く言語活動とその特徴

『韓国』について調べたことを友達にプレゼンしよう」という言語活動を、単元を貫く課題解決的活動として位置付ける。修学旅行でコリアンタウンに行く生徒は、その事前学習会で「韓国」について調べたことを発表する。「韓国」について知りたいことを考え、情報カードを使って収集・整理した内容をまとめて報告するという活動は、生徒の知りたい、伝えたいという意欲をかき立て、指導事項【話すこと・聞くこと】ア「社会の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること」、ウ「目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと」を確実に指導できるものとする。

また、国語科での学習の後、本番の事前学習会は総合的な学習の時間に実施する。

5. 単元について

・本単元では、【話すこと・聞くこと】の言語活動例ア「調べて分かったことや考えたことなどについて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること」を具体化した。調べて分かったことについて資料を用いて説明する言語活動は、様々な場面で繰り返して行われているが、その際大切なことは、生徒が主体的に取り組める活動になるかどうかだと考える。そこで、修学旅行の事前学習会での発表を前提に単元構成し、生徒が目的を明確にもって活動できるようにした。また、コリアタウンに行き行って学習することは以前から知らせてはあるが、多くの生徒が隣国である韓国についての知識が不十分で興味も高いとはいえないため、事前に学校司書による読み聞かせや関連記事の紹介等を行い、生徒が韓国に興味をもち、課題設定の際にできるだけ自分の考えを広く出せるよう配慮した。

・生徒はこれまで、中学校生活の目標や自分の好きな本など、日常生活の中から話題を設定し、スピーチや対話を行ってきた。総合的な学習の時間のまとめの発表や職場見学報告会での説明などでプレゼンをする機会も設けた。また、1年の3学期には、小学校6年生との交流会でポスターセッションを行い、『部活ってなに?』にお答えします」「中学校で変わる学習方法」など、グループごとに6年生に紹介したいテーマを決め、6年生に3分程度説明し、その後、6年生からの質問に答えるという経験をした。その際には、国語の時間に図表やキャッチコピーなどの効果や話の構成の工夫、聞き手の反応を確かめながら話すことの意義などを学習し、本番の交流会にのぞんだ。これらの活動により、生徒の多くは準備や練習に時間をかければ自分の考えを分かりやすく伝えることはできるようになっているが、まだ相手や目的、場面に応じて話す力、聞き手が理解しやすいように適切に言葉を選んだり資料を効果的に活用して説明したりする力は弱い。

・指導にあたっては、生徒に学習過程を意識させ、生徒自身が見通しをもち、生徒の主体的な活動になるようにしたい。課題設定では、三つの思考ツール（ベン図・マトリクス表・ピラミッドチャート）を使って自分の考えを可視化して絞っていくことで、課題へ取り組む意欲を高めたい。情報収集の際は、文章の中で必要だと思った部分に印をつけたり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進めたり、多くの本に目を通したりするなどの様々な読み方を取り入れる。自分が絞り込んだ課題であることを常に意識し取り組むことが、疑問に思ったことを確かめ、広げ、深めるなど、生徒の日常の読書活動の質を高めることにもつながると考える。また、集めた資料を吟味し、資料の提示の仕方とその資料を使って話す内容を考えさせていく時も、構成を考えながら作ったものがそのまま発表用の画面となるようワークシートを工夫し、作業の効率化を図るとともに、生徒の試行錯誤した過程が分かるように配慮しながら既習事項や創意工夫を生かして学習に取り組ませ、学習の楽しさを実感させたい。そして、最後に自分のプレゼンの様子の映像を見ながら話し合うことで自己評価や相互評価の質を高め、その中で分かりやすく説明するポイントをつかんでいけるように指導したい。

6. 本実践とキャリア教育

調べる学習では、情報カードを使って必要な情報を選び取っていく。図書資料、インターネット等の情報源から、自分が設定した課題によって情報を取り、それを整理しまとめていくことは、常に自分の課題と向き合っていないと難しい。また、情報を理解し、選択し、処理する際には、資料などを活用して説得力のある話にしたいという思いが重要になる。韓国について自分が設定した課題を調べ、それを事前学習会の場で発表するという活動を通して、課題発見の仕方、情報を主体的に選択し活用する力を伸ばしたい。

【見通しをもって計画・実行する力（課題対応能力）】

7. 単元の指導計画と評価計画（全7時間）

次	時	目標	主な学習活動	評 価			
				国語	話す	言語	評価規準（評価方法）
1 次	1	学習全体の見直しをもつ。 調べて報告する内容を決める。	①昨年度の2年生の発表の様子を見て、発表のイメージをもつ。 ②ベン図やマトリクス表、ピラミッドチャートを利用し、自分の考えを可視化して、課題設定する。		○		【話】思考ツールの使い方を理解し、自分の考えを確かめながら課題設定している。 (思考ツールシート)
	2 3	報告する内容について書かれている情報を図書資料等から探し、要点を情報カードに書き込む。	①用意された図書資料等から該当の内容が書かれている場所を探して付せんを貼る。 ②付せんを付けた個所について情報カードに必要な部分を書き出す。		○		【話】付せんや情報カードに必要な事柄を書き出している。 (観察・情報カード)
2 次	4 5	情報カードをもとにして発表用資料をまとめ、話す練習をする。	①前時までの情報カードをもとに、発表資料を作成する。 ②昨年の自分たちのプレゼンの様子を振り返りながら、話す練習をする。	○	○		【国】聞き手を想定して、分かりやすい構成や展開を考えて発表資料を作成したり、発表の練習をしたりしている。 (観察) 【話】分かりやすい説明になるように資料や機器の使い方を考えて話している。 (観察・発表資料)
	6 本時	事前学習会に向けて発表資料を用いてリハーサルを行う。	①リハーサルを行う。 ②分かりやすい説明のしかたについてグループで交流する。 ③事前学習会に向けて、修正点や注意点を確認する。		○	○	【話】資料や機器の効果的な使い方について、考えている。 (発言) 【言】聞き手を意識して、言葉遣いなどに注意して話している。 (観察・映像)
3 次	7	前時に確認した修正点や注意点をふまえ、発表資料を完成させる。	①まとめシートを見ながら、プレゼンのポイントをノートに整理する。 ②発表資料を完成させ、本番に向けて練習する。		○	○	【話】資料や機器の効果などを考え、工夫して発表資料を作成している。 (発表資料) 【言】聞き手を意識して、言葉遣いなどに注意して話している。 (観察)

8. 本時の学習（第3次 6時間目）

①本時のねらい

・分かりやすく説明するために、資料や機器の使い方や効果的な話し方について考えることができる。

【話す・聞く能力】

・聞き手を意識して、話し言葉としてふさわしい言葉を使って話すことができる。

【言語についての知識・理解・技能】

②本時の展開

学習活動	教師の支援	評価（評価方法）
1 本時の学習のめあてを確認する。	分かりやすく話すためのプレゼンのポイントをつかもう	
2 2人ペアでリハーサルを行い、それをデジカメで撮影し、その映像を見ながら発表の仕方を確認する。	○付せんに気づいたこと（よかった点〈青〉、直した方がいい点〈赤〉）を書くよう説明する。	☆聞き手を意識して、言葉遣いなどに注意して話している。 【言語についての知識・理解・技能】（観察・映像）
3 分かりやすい説明の仕方についてグループで交流する。	○まとめシートに整理しながら付せんを貼り、そのシートをもとにプレゼンのポイントがつかめるように指導する。	☆資料や機器の使い方の工夫や効果的な話し方について考えている。 【話す・聞く能力】（発言・ノート）
4 学習を振り返り、分かりやすい説明の仕方について考えを深める。	○事前学習会の本番に向けて、自分のプレゼンの修正点や注意点が具体的に考えられているか確認する。	

③本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
話す・聞く能力	具体的な場面や効果をあげながら話し合い、資料や機器の使い方の工夫や効果的な話し方について考えている。	話し合いを通して、資料や機器の使い方の工夫や効果的な話し方について考えている。	まとめシートにある項目を確認し、工夫点のポイントがつかめるようにする。
言語についての知識・理解・技能	聞き手の反応や質問を想定し、言葉遣いなどに注意して話している。	聞き手を意識して、言葉遣いなどに注意して話している。	映像の自分の姿を確認し、話し言葉としてふさわしいかを考えさせる。

④授業研究の視点

・デジカメで撮影した自分たちの姿を見てグループで話し合ったことは、分かりやすく説明するためのプレゼンのポイントを理解する手立てとして有効であったか。